

住民主体のまちづくり

No.16 2015. 3

編集発行：車尾地域づくりモデル検討会

■ モデル事業のまとめ

● 「安心・安全」部門について

スローガン

住民が安心・安全に暮らせるまちづくり

何からやっていくか

- 災害時要支援者の把握その支援
- 近隣住民による消火栓の維持管理
- ネットワークづくり
 - ・民生委員との連携（情報共有と協働）
 - ・老人クラブとの連携（現状把握と交流）
 - ・小中学校との連携（情報交換）

組織

- 議決機関は、自治連・消防団・民児協安協・住民で組織する。
- 役員会として、議決機関の代表者で。
- 実働部隊は、自治連合会で。

● 「地域福祉部門」について

スローガン

見守ろう向う三軒両隣
共につくろう住みよい車尾

何からやっていくか

- 見守り活動のネットワークづくり
民生委員・在宅福祉員・社福代議員
で協議し、煮詰める。

● 「子育て支援」部門について

スローガン

くずも大好き！^み魅せよう^{おせ}大人の背中
深めよう子どもとの絆

何からやっていくか

- 子ども見守り活動と声かけ
児童の下校時に、地域の大人が、
不審者対策とあいさつを実施。
- 乳幼児の交流事業
地域の大人と乳幼児が様々な催し
で触れ合う。
- 子ども教室
地域の大人から、児童が様々な体
験を学ぶ。
- たよりの発行
地域ぐるみで子育て支援の意義を
各種内容で周知する。

● 「環境美化」部門について

スローガン

快適でうるおいのある地域づくり

何からやっていくか

- 米川の川底を清掃する
環境をよくする会が計画し、住民に
呼びかけ、地区内の川底を実施する。

● 「健康づくり」部門について

スローガン

地域のつながりを生かした健康づくり

何からやっていくか

- 保健推進委員会が中心になって、次の事を
実施する。
 - 健康イベント
 - 健診・検診の受診啓発
 - 姿勢アンケート
 - ラジオ体操の普及